

上方の伝統芸能を活かしたまちづくり

財団法人 山本能楽会

理事長 山本 旭彦 ○山本 佳誌枝

1.活動方針・目的

大阪は古い歴史を持つ、他に類をみない「文化集積都市」である。しかしながら、一般には「危険で訪れたくない街」「お笑い」とたこ焼きだけの町」といったイメージを持たれがちである。そこで、太閤秀吉の時代以来、大阪で育まれた豊かな文化をジャンルの垣根を越え、芸人たちが共同で発信し「文化の香り高いまちづくり」を行うのが本活動である。大阪では、単に芸能を鑑賞するだけでなく、実際にお稽古をして芸能を嗜む人口が多く、その分厚い層によって豊かで多岐にわたる芸能が生まれ、育まれてきた。現在は一般的にはそのような文化的な側面は、忘れ去られてしまい、逆に文化程度の低い街といった印象すら持たれるようになった。本活動は、大阪の持つその豊かな文化資源を活用し、時代に即した新たな魅力を発掘することで、敷居が高いと思われがちな伝統芸能の世界を活性化し、大阪の街を文化の力で元気にする事を目的としている。

また伝統芸能の世界では活躍しにくい若手に発表の機会を創出し、次世代を担う若手の育成の場としても貴重である。あらゆるジャンルの芸能が出演する事で、それまで少なかった芸人同士の交流も楽屋で活発に行われることで、お互いの芸能にも刺激を与え合い、上方伝統芸能の世界に新たな風を吹き込む事にもつながっている。今まで能楽、文楽、上方舞などの伝統芸能と、落語、講談、浪曲といった演芸は、同じ舞台をつとめる機会は少なかったが、お座敷遊び、活動写真などの演目も加え、多岐にわたる大阪に伝わるあらゆる芸能が一堂に会する場を創造することで、大阪の街が持つ魅力である「ごちゃ混ぜ感」とリンクさせ、大阪にしかない、大阪独自の魅力を全国に情報発信し、「大阪の活力」をアピールしていきたい。

2.活動内容

能、狂言、文楽、上方舞、落語、講談、浪曲、女道楽、お座敷遊び、活動写真などの中から、落語家の司会と解説により、一晩に4種類の芸能の面白い部分のみをダイジェストで楽しんで頂く公演である。敷居が高いと思われがちな伝統芸能であるが、落語家が笑いを交えながら気軽に楽しんで頂けるよう案内をする。また途中の「体験コーナー」で、直接出演者から、芸能を教えてもらう体験をすることで、客席と舞台の距離が近くなり、臨場感が増し、さらにリラックスしてご覧頂く事ができる。そして、全ての芸能について、その芸能の解説、大阪との関わり、演目の紹介などの資料を配布させて頂き、公演前にあらかじめ基礎知識を持って頂けるよう促している。また、能、文楽、上方舞、お座敷遊びなどの芸能では、「何をいっているのかわからない」といったご意見をよく頂くので、詞章を配布するとともに、「字幕」でも掲示し、横目で詞章をみながら鑑賞できる工夫をこらしている。

また本活動は毎月第1、第3土曜日夜の定期公演として、年間23回開催しているが、2009年度は7公演において、日本語、英語、中国語、韓国語による四ヶ国語対応公演を催し多くの日本に住む外国人や観光客にご好評を頂いたが、古典芸能の世界においては、他に例のない画期的なことである。また毎年大晦日には「年越しイベント」を開催し、国登録文化財の能楽堂の持つ精緻な雰囲気の中で、日本の文化の素晴らしさを感じて頂き、日本人が忘れかけている美意識を喚起して頂く機会を創出できればと考えている。

3.他の活動団体の参考となる事例

本活動を開催するにあたり、会場をどこにするかの選択時に、山本能楽堂での開催が決定したのは、国の登録有形文化財の指定を受けた日本の伝統的な建築物であったことに加えて、客席と舞台の近さが大きな要因となった。大きなホールではなく、古典芸能が生まれた時代の演者の汗や息遣いが感じられる芝居小屋に近いイメージであったからである。関西にはまだまだこのような地域資源が潜在しており、その場所に合った活用をすることでその魅力が何倍にも増し、新たなブランド力につながると考えます。

4.今後の課題等

本活動は、役者が自分達で企画、運営を行う手作りの公演であり、どうしても情報発信力に欠け、広報が弱い。また、外国語対応の公演を行う時なども、事前に海外の旅行者などに情報を流し、海外からの集客を図りたいが困難である。各界からのご協力を得て、できる限りの情報発信につとめているが一番大きな課題が一般への周知である。本発表に応募させて頂いたのも、私達の活動を少しでも多くの方に知って頂きたいと思ったからである。



「初心者のための上方伝統芸能ナイト」

～1晩で4種類の上方伝統芸能を落語家の司会と解説付きでお楽しみ頂く～

文化の薫り高い「観光集客都市」大阪を目指して

主催:財団法人 山本能楽会
共催:大阪市、大阪商工会議所
協力:(財)大阪観光コンベンション協会



初心者のための上方伝統芸能ナイト

- 「初心者のための上方伝統芸能ナイト」公演は、大阪で育まれた豊かな文化・芸能を広く一般の方に楽しんで頂くため、能、狂言、文楽、上方舞、講談、落語、浪曲、お座敷遊びなどジャンルの垣根を超えた、様々な上方伝統芸能の演者達が協力して企画・出演し、地元住民や観光客が楽しめる新たな夜型エンターテインメントを提供するものである。
- 大阪は、他に類をみない「文化集積都市」であり、大阪でしか出来ない、大阪で生まれた、大阪独自の公演である。
- 昨今、大阪は、たこ焼きやお笑いだけの街であると思われがちであるが、全国の他のどの地域よりも多彩な芸能が育まれた「文化集積都市」であり、その豊かな文化をアピールしたい。
- 大阪は「危険で訪れたくない街」とのイメージをもたれることもあるが、そのマイナスのイメージを払拭し、文化の力で大阪を元気にしていきたい。



企画・開催にあたり

■ 本公演は「豊か」で「楽しく」、「安全」かつ「文化的」なナイトライフを過ごすことができる魅力ある街・大阪を目指して大阪商工会議所が推進する「大阪ナイトカルチャー」事業と、滞在型観光の促進を目指して大阪市が推進する「ナイトアミューズメント」事業の共同企画として企画、開催されてきた。

■ 最初は2006年12月に、(財)山本能楽会と大阪商工会議所の共同企画「おとなの年越しライブ」として開始し、その後、大阪市、大阪商工会議所、(財)大阪観光コンベンション協会の主催で、2007年から2008年にかけ、13回の試行上演を行った。伝統芸能の鑑賞経験が少ない20代～40代を中心に2000人以上が参加し、アンケートでは公演内容に高い評価が与えられるとともに、継続開催を望む声が多数寄せられた。

■ そして、開催を継続するため、2008年4月より、(財)山本能楽会が事業を受け継ぎ、大阪市、大阪商工会議所、(財)大阪観光コンベンション協会の協力を得て、毎月第1、第3土曜日の夜に定期公演として開催している。

■ また、夜の開催であり、勤め帰りの方を呼び込むため、全ての公演にの軽食(おこわ飯)とサントリー様御提供の飲料を提供している。



3

開催による効果

■ 出演者からは、①他の芸能と競演することでお互いに刺激となった、②参加者が各芸能に興味をもち、舞台や教室の集客につながった、③今まであまりなかった他の芸能の方との連携が生まれた、などの効果があり、定期公演化することで上方伝統芸能を活性化につながっている。また、本公演の出演者同志で、新しい企画や公演が生まれ、上方伝統芸能の新たな発展に寄与している。

■ 本公演の大きな特徴として、関西のみならず、東北や九州など遠方からの参加者があり文化の香り高い「観光都市大阪」をアピールできる新たな観光資源としても期待が寄せられている。

■ また、留学生等大阪に長期滞在する外国人、あるいは外国人観光客もしばしば訪れ、大阪で、日本の文化を知る貴重な機会、文化交流の場になっている。(インバウンド推進)

■ 毎回行うアンケート調査では、回収率が毎回7、8割を越え、多い時では95%以上となるが、そのほぼ99%の方に「楽しかった」とご回答頂き、満足度が高い事が伺える。また今まで古典芸能の世界では少なかった20歳代から40歳代の観客が6割を超え新たなファン層を開拓した。

■ また、リピーターの数も、回を重ねるごとに増え、中には全回ご参加頂く方もいらっしゃる。

■ アルコール飲料の提供をおこなう「年越し特別編」は大人気である。



開催概要

■能、狂言、文楽、上方舞、落語、講談、浪曲、女道楽、お座敷遊び、活動写真の中から一晩に4種類の芸能を、落語家の司会と解説付きで、初心者でも気軽に楽しく、上方伝統芸能を楽しむ事ができる。

■さらに、各芸能の解説および当日の演目の見所を、毎回資料にまとめお客様に配布する事で、事前に下調べをしなくても、その場になると基礎知識が得られるように促している。

■能、文楽、上方舞、お座敷遊びなどは詞章を「字幕」で掲示し、「何を言っているのか知りたい」といったお客様の要求にお応えしている。

■途中に「体験コーナー」をもうけ、客席から舞台に3人の方にあがって頂き、芸能を体験して頂く事で、臨場感が増し、客席と舞台が一体化するように工夫をこらしている。

毎回「体験コーナー」は大人気で、大阪らしさを感じて頂いている。

<プログラム(例)>

18:15～ 開場(場内で軽食を提供)

19:00～ 開会&各芸能と演目の紹介 19:15～ 落語上演

19:35～ お座敷遊びの上演

19:50～ お座敷遊びの体験体験コーナー

(お客様のなかから3名に舞台に上がって頂き伝統芸能を体験して頂きます) 20:00～ 浪曲の上演

20:20～ 能上演 20:45～ 閉会&アンケート記入

【料 金】:Sエリア(1階正面イス席) 4,500円

Aエリア(1階正面座布団席) 4,000円

Bエリア(1階ワキ、2階席) 3,500円

<エリア内自由席・1公演あたり・軽食とお茶付>



四力国語対応公演 (VJCによるインバウンドの推進)

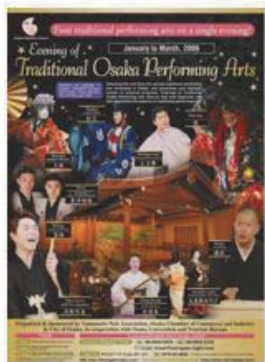
■海外ビジター向けの新たな夜型観光プログラムの開発を進めるために2009年2月公演(計2回)、水都大阪2009期間中5回公演、2010年2月公演1回は、大阪市、大阪商工会議所、(財)大阪観光コンベンション協会のご協力を得て4カ国語対応の公演を開催した。

これは、VJCの「YOKOSO! JAPAN」に対応する公演である。

■具体的には、4カ国語(英語、中国語、韓国語、日本語)による「字幕」の掲示と、4カ国語に翻訳された詳しい解説付きの資料を配布することで、外国の方にも気軽に、国籍の違う方も同時に、同じ上方伝統芸能をお楽しみ頂けるよう工夫を重ねた。

■また、チラシも英語、中国語、韓国語の外国人向けのチラシを作成・配布し、外国人の集客を呼びかけた。

■アンケート結果によると、外国人からも「楽しかった」「同様の公演を再演してほしい」という高い評価を頂き、工夫を重ねる事で、外国人にも楽しんで頂ける公演である事がわかった。



6 <英語版チラシ>



<中国語版チラシ>



<韓国語版チラシ>

四カ国語による「字幕」の掲示と
場内の様子



四ヶ国語対応の「字幕」



体験コーナーの様子



上方伝統芸能ナイトの今後の課題

■本活動は、役者が自分たちで企画、運営を行う手作りの公演であり、どうしても情報発信力に欠け、広報が弱い。また、外国語対応公演を行う時なども、事前に海外の旅行者などに情報を発信し、海外からの集客を測りたいが困難である。各界からのご協力を得て、できる限りの情報発信につとめているが、一番大きな課題が一般への周知である。

■できれば、京都の「ギオンコーナー」のように、誰もが気軽に立ち寄れる観光スポットとなるよう、頑張りたい。大阪は「お笑い」と「焼きのまち」と思われがちであるが、そのステレオタイプ化されたイメージを払拭し、豊かな文化の根付いた魅力的な街である事を発信していきたい。

■今回本発表に応募させて頂いたのも、私たちの活動を少しでも多くの方に知って頂きたいと思ったからである。

■できればお一人でも多くの方に足を運んで頂き、ご鑑賞頂く事で「初心者のための上方伝統芸能ナイト」を応援して頂き、お育て頂ければと切望致しております。

